

## 編 集 後 記

『放送大学研究年報』第16号をお届け致します。昨年と打って変り、本号は論文13篇に加え研究ノート1篇、最近ではもっとも分厚い年報となりました。人文科学諸分野を中心に論題は多彩で、本学専任教員とりわけ中堅各位の年余の研鑽成果の結集を見る思いが致します。平年10年度は本学の核とも言うべき放送授業の全国化第1年、その画期に相応しい1冊と申せましょう。

昨年度より収録論文要旨の形式を整えるほか、編集委員会では判型の拡大、レフェリー制・ネイティブスピーカーによる欧文要旨の校閲制・パソコンを活用する刊行方式などの導入について意見が交され、話題は学会専門誌と研究年報との関係如何にも及びました。年報の充実発展のために論ずべき点は他にも多々あると思われませんが、とまれ放送授業の全国化に伴い、生涯・遠隔教育において果すべき本学の役割への期待が高まることは、同時に本研究年報への注視の高まりをも意味するであります。教員各位には、年報刊行に関し卒直な意見をお寄せ下さるとともに、本年報を研究成果発表の場として一層活用されることを望んでやみません。

平成11年3月

### 放送大学研究年報編集委員会

委員長 伊藤貞夫

委員 嶋崎尚子・相場 覺・高橋和夫  
神代和俊・島内裕子・長岡亮介

---

### 放送大学研究年報 第16号 平成10年

平成11年3月26日 印刷

平成11年3月31日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2丁目11番地

電話 043-276-5111 (代表)

印刷者 高山印刷株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-11-5 (佐川ビル)

---